

教科名	地理歴史	科	科目名	地理総合 ■必修 □選択	学年	1 年	単位数	2
使用教科書 副教材等	高等学校 新地理総合 (帝国書院) 高等地図帳 (二宮書店) 新編フォトグラフィア地理図説 (とうほう)				使用教室	HR 教室		
学習の 目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な資質・能力を育成することを目指す。							
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート・授業プリント ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート) □その他 ( )						
	評価 観点の 趣旨	a	知識・技能	地理に関わる諸事象に関して理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。				
		b	思考・判断・ 表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、考察したことを効果的に説明する力を身に付けている。				
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にここで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。				
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。								
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法				
				項目	a	b	c	
1	4	地図と地理情報システム	1. 地球上の位置と時差	■定期考査	a	b	c	
	5		2. 地図の役割と種類	■小テスト	a			
	6	結び付きを深める 現代世界	1. 現代世界の国家と領域	■ノート	a	b	c	
	7		2. グローバル化する世界	■振り返りシート				
				□作品	a	b	c	
				■パフォーマンス課題	a	b	c	
				□その他	(	)		
2	9	生活文化の多様性と国際理解	1. 世界の地形	2. 世界の気候	■定期考査			
	10		3. 世界の言語・宗教	4. 歴史的背景	■小テスト	a	b	c
	11	地球的課題と国際協力	1. 地球的課題	2. 地球環境問題	■ノート	a	b	c
	12		3. 資源・エネルギー問題	4. 人口問題	■振り返りシート		b	
			5. 食料問題	6. 都市・居住問題	□作品	a	b	c
					■パフォーマンス課題	a	b	c
					□その他	(	c	)
3	1	自然災害と防災	1. 日本の自然環境	2. 地震・津波と防災	■定期考査	a	b	
	2		3. 火山災害と防災	4. 気象災害と防災	■小テスト			
	3	生活圏の調査と地域の展望	5. 自然災害への備え		■ノート	a	b	c
			1. 生活圏の調査と地域の展望		■振り返りシート	a	c	
					□作品	a	c	
					■パフォーマンス課題		b	c
					□その他	(	)	
担当者からのメッセージ (学習方法など)								
授業はプリントで進めます。特にテスト前はしっかりプリントを見直してください。 成績は、 <u>授業態度 (忘れ物を含む)</u> 、 <u>提出物</u> 、 <u>定期考査</u> の三つから主に評価します。								

教科名	公民科	科目名	公共 ■必修 □選択	学年	2年	単位数	2
使用教科書 副教材等	高等学校 公共 (帝国書院)			使用教室	HR教室		
学習の 目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を迫り解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会を主体的に生きることが出来る資質・能力の育成を目指す。						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 □小テスト ■ノート・授業プリント ■振り返りシート □作品 ■パフォーマンス課題 (プレゼンテーション・小論文・レポート・ デイバート・自主学習ノート) □その他 ( )					
	評価 観点の 趣旨	a	知識・技能	現代社会の基礎的・基本的な知識を習得し、諸資料から、主体的に活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。			
		b	思考・判断・表現	現代の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、議論する力を身に付けている。			
		c	主体的に学習に取り組む態度	現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深め、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価 (A、B、Cの3段階) および評点 (1~10の10段階) にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a・b・c		
1	4	社会の中の私たち	・青年期と社会参画	■定期考査	a b		
	5		・宗教・思想・伝統文化と社会	□小テスト			
	6		・倫理的な見方・考え方	■ノート	a b c		
	7		・社会の基本原則と憲法の考え方	■振り返りシート	a b c		
				□作品			
				■パフォーマンス課題	a b c		
				□その他	( )		
2	9	私たちと法	・法の意義と司法参加	■定期考査	a b		
	10		・民主社会と政治参加	□小テスト			
	11		・国際政治の動向と平和の追求	■ノート	a b c		
	12		・市場経済のしくみ	■振り返りシート	a b c		
				□作品			
				■パフォーマンス課題	a b c		
				□その他	( )		
3	1	私たちと経済	・豊かな社会の実現	■定期考査	a b		
	2		・国際経済の動向と格差の是正	□小テスト			
	3		・増加する医療費を誰が負担すべきか? ・パリ協定目標達成のために国際社会に必要なことは?	■ノート	a b c		
				■振り返りシート	a b c		
				□作品			
				■パフォーマンス課題	a b c		
				□その他	( )		
担当者からのメッセージ (学習方法など)							
授業はプリントで進めます。その日習ったことは、忘れないようその日のうちに復習しましょう。テスト前はしっかりプリントを見直してください。							

教科名	地理歴史 科	科目名	歴史総合 ■必修 □選択	学年	3 年	単位数	2
使用教科書 副教材 等	新選歴史総合（東京書籍）			使用教室	HR教室		
学習の 目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。						
評価	評価法	興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。 ■定期考査 ■小テスト ■ノート ■振り返りシート □作品 □パフォーマンス課題（プレゼンテーション・小論文・レポート・ ディベート・自主学習ノート） □その他（ ）					
	評価 観点 の 趣旨	a	知識・技能	○近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。			
		b	思考・判断・ 表現	○近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりすることができる。			
		c	主体的に学習 に取り組む 態度	○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。			
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。							
学期	月	学習項目・単元	学習内容・ねらい	評価方法			
				項目	a・b・c		
1	4	第1章 歴史の扉 1節 歴史と私たち 2節 歴史の特質と資料	○日本や世界のさまざまな地域の人々の歴史的な営みの痕跡や記録である遺物、文書、画像などの資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解する。	■定期考査	a	b	c
	5	第2章 近代化と私たち 1節 近代化への問い	○交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務、学校教育、労働と家族、移民などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。	■小テスト	a	b	c
	6	2節 結び付く世界と日本の開国 3節 国民国家と明治維新	○18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。	■ノート	a	b	c
	7	4節 近代化と現代的な諸課題		■振り返りシート	b	c	
2	9	第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節 国際秩序の変化や大衆化への問い	○国際関係の緊密化、アメリカ合衆国とソヴィエト連邦の台頭、植民地の独立、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、生活様式の変化などに関する資料を活用し、国際秩序の変化や大衆化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。	□作品	a	b	c
	10	2節 第一次世界大戦と大衆社会 3節 経済危機と第二次世界大戦		□パフォーマンス課題	a	b	c
	11	4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 第4章 グローバル化と私たち	○冷戦と国際関係、人と資本の移動、高度情報通信、食料と人口、資源・エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用し、グローバル化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する。	□その他	( )		
	12	1節 グローバル化への問い 2節 冷戦と世界経済					
3	1	3節 世界秩序の変容と日本	①アジア諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。	■定期考査	a	b	c
	2	4節 現代的な諸課題の形成と展望	○科目のまとめとして、現代的な諸課題に関する主題を設定し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現することを通して、歴史的経緯を踏まえて、持続可能な社会に向けて、現代的な諸課題の展望を探究する。	■小テスト	a	b	c
	3			■ノート	a	b	c
				■振り返りシート	b	c	
				□作品	a	b	c
				□パフォーマンス課題	a	b	c
				□その他	( )		
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
①授業態度 ②提出物 ③定期考査 の主な3つから評価していきます。それらに向けて、授業に必要なものを用意しておく、授業に主体的に取り組む、締め切りを守って提出物を出す、定期考査に向けて予習復習に取り組む。以上を普段から心がけてください。							